



企画展 1

neoteny japan

CONTEMPORARY ARTISTS AFTER 1990'S — FROM TAKAHASHI COLLECTION

ネオテニー・ジャパン — 高橋コレクション

平成 22 年 4 月 7 日 [水] - 5 月 16 日 [日]

休館日は 4/12(月)、19(月)、26(月)、5/6(木)、10(月)

時間 / 9:40~18:00 (入場は 17:30 まで)

奈良美智の作品《Candy Blue Night》。黒く塗りつぶされた背景に、目のつきあがった大きな頭の女の子が、こちらを見つめています。その表情は明瞭であるというよりもむしろ、変幻自在であり、見る人や見る時によりその受け取り方は異なるのではないのでしょうか。奈良の作品には、幼い頃に抱いた様々な感情や、大切な思い出など、自身の体験に基づく純粋でかけがえのないものが込められています。そのため、私たちもその作品を通して自分自身の記憶が呼び起こされ、ひとりの少女の中に実に多様な表情を見出すのでしょう。

本展は、奈良美智、村上隆を始めとする個性あふれる作家が活躍し、世界中から注目を集めている日本の現代美術作品を紹介する待望の展覧会です。作品の所蔵者である高橋龍太郎氏は、国内でも有数の日本の現代美術のコレクターとして知られています。各作家の代表作を含むその所蔵作品は 1,000 点以上にもおよび、1990 年代以降の現代美術の流れをたどることができるほどの充実した内容となっています。今回はその中からネオテニー(幼形成熟)という言葉キーワードに、35 名の作家による作品約 100 点を選びました。かわいさ、子どものような感性、サブカルチャー、卓越した技術力、内向性、物語性など日本の現代を反映する様々な要素を内包し、現代社会とともに揺れ動く、身近でまさに生きている作品をぜひ会場でお楽しみください。(H.S.)



奈良美智《Candy Blue Night》2001年 高橋コレクション
© Yoshitomo Nara Courtesy Tomio Koyama Gallery, Tokyo

22 年度 展覧会 スケジュール

「ネオテニー・ジャパン」「ル・コルビュジエ展」に続く、22 年度の展覧会を紹介します。幅広いラインナップでみなさまのお越しをお待ちしています。

メカデザイン FOR 1/1 メカニックデザイナー 大河原邦男

7 月 24 日 [土] - 9 月 6 日 [月]

アニメのメカニックデザインの巨匠、大河原邦男の展覧会です。大河原はタイムボカンシリーズ ヤッターマンや機動戦士ガンダムなどのメカニックデザインを担当し、世界のアニメファンに名を知られています。本展では、ガンダムをはじめ、数多くのアニメ作品のメカデザイン原画や設定資料のほか、実物大の模型や、大河原オリジナルのメカも併せて展示します。



© 創通・サンライズ
機動戦士ガンダムより「ザク」

国立近代美術館所蔵 工芸・デザインの名品展

9 月 18 日 [土] - 10 月 31 日 [日]

国立近代美術館が所蔵する近現代の工芸・デザインの一流の名品を展示する展覧会です。伝統の技術を継承しつつ近代的な表現を目指した人間国宝等による陶芸・漆芸などの名品から、本県出身のグラフィックデザインの先駆的巨匠である杉浦非水の手がけたポスター等、さらには美術・工芸の枠を超えた前衛的な立体作品にいたるまで、日本の美術・工芸・デザイン史の多様な側面を紹介いたします。

インカ帝国のルーツ 『黄金の都シカン』展

11 月 17 日 [水] - 平成 23 年 1 月 10 日 [月]

中南米インカ帝国のルーツとなった黄金の都シカンの出土品を展示する展覧会です。シカン文明はペルー北海岸に栄え、古代アンデス文明の中でもきわだって個性的な遺物を多く残している。イリノイ大学の島田泉教授が 30 年にわたり発掘調査してそれを明らかにし、世界的な注目を集めました。本展では、ペルー政府から特別に提供された黄金仮面をはじめとする一級の考古遺産を紹介いたします。



《シカン黄金製仮面》11 世紀初期
ペルー文化庁・ペルー国立シカン博物館蔵 撮影：義井隆

生誕 100 年特別展 白洲正子「神と仏、自然と祈り」

平成 23 年 1 月 29 日 [土] - 3 月 6 日 [日]

確かな目で、日本人の心をとらえ、骨董、能、紀行など幅広いジャンルで批評を書き、日本人の心をとらえた白洲正子の生誕 100 年を記念する展覧会です。白洲次郎・正子の孫にあたる白洲信哉氏が監修し、批評の対象となった仏像、神像、美術工芸品など国宝を含む名品と映像資料で構成します。



現在、猫の手も借りたいほどの忙しさです。4 月のネオテニー展準備も本格的になってきました。同時代を生きた作家や作品との、心ときめく出会いをたくさんの方々と楽しみたいです。(H.S.)

講演会

「プロから学ぶ美術品の取り扱い」レポート



美術に関連のある事柄を取り上げる普及事業、今年度は「美術作品の取り扱い」に焦点を当てました。

作品取り扱いのプロ！日本通運から熟練のお二方を講師に招き、額、立体、屏風の三部構成で、箱から出す開梱、壁や台に飾る展示、再度収納する梱包を繰り返し、実際に所蔵作品を使い美術品の取り扱いを見ていただきました。

思いの外、美術館・博物館関係者やギャラリー、画材業者の方たちの参加が多く、家庭での取り扱いに関する話が少なく、美術館での展示という内容についてお話が進みました。しかし、作品を大事に扱うということはどの作品にも共通する事柄として伝わったのではないかと思います。質問事項も紐の結び方のような詳細なものから、思いもかけない「帽子はずっと被ったまま作業をするのか？」というお子さんの素直な質問まで多岐にわたり、和やかな雰囲気の中、長時間の講演会は終了しました。

今回、作品の取り扱いに関して、本当に様々な質問をいただき、みなさんの関心の高さを実感しました。これまでも軸や屏風など、取り扱いも含めた講座を開催したことがありましたが、今後もちょこちょこ開催しますので、どうぞ、お楽しみに！(A.T.)



開館記念日レポート

11 月 27 日に、愛媛県美術館は満 11 歳の誕生日を迎えました。毎年、一番近い日曜日に開館記念日イベントを開催していますが、今年は 11 月 29 日(日)に、所蔵品展の観覧料を無料にするほか、様々な催し物を実施しました。今年で 3 回目を迎えた手づくり品のフリーマーケット「てしごと市」。陶磁器、ビーズ小物、染織・革小物、オリジナル T シャツなど、抽選を経た 26 グループが出店し、終日、大盛況となりました。午前中は、体験イベント「あなたも照明デザイナー」、作品を展示・鑑賞する際の重要な要素である「照明」に焦点を当て、参加者の個性が光る体験イベントでした。午後は、名誉館長によるフロアレクチャー。当館のコレクションの大きな柱となっている西洋絵画と福田平八郎について、時折図版や資料も交えてのお話でした。美術体験講座「お花で飾ろう！」では、いらなくなった布や紙などを花に蘇らせて思い思いの花を美術館に咲かせました。また、作品ガイドボランティアによる対話型美術鑑賞も実施しました。城山公園を散策中の方がふらりと立ち寄り、出店者の力作をじっくり品定めしたり、絵画を鑑賞したりするなど、気軽に美術館を楽しんでいただけた一日でした。(T.K.)



ハトの声(編集後記)

まもなく完成する愛媛県美術館所蔵作品集の表紙を飾るのは、この本紙の名称であるカンフォロ(クスノキ)がデザインされています。それから、ミュージアムショップの買い物袋のデザインもカンフォロ(クスノキ)で準備が進んでいる様子。当館の中庭のカンフォロ(クスノキ)は、やはり当館のシンボルの存在ですね。(M.I.)

ご利用案内

- 開館時間 9:40~18:00(入室は 17:30 まで)企画展の終了時間は、展覧会により異なります。
- ※ 実行委員会及び貸展については、入室時間が異なることがあります。各展覧会のページでお確かめください。
- 休館日 毎週月曜日(祝日、振替休日及び第 1 月曜日に当たる場合は開館し、その翌日が休館日)



愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL 089-932-0010 FAX 089-932-0511
<http://www.ehime-art.jp/>

平成 22 年度美術館友の会会員募集?…3 月中旬開始?…21 年度会員数 1,606 人(会員規模全国 3 位)…年会費 3,000 円!…6 企画展が各 1 回ずつ無料鑑賞可、常設展は無制限!! その他特典盛りだくさん…こりゃあいい!(T.K.)



20 世紀モダニズム建築の遺産

ル・コルビュジエ展

[輝く都市=健康都市]

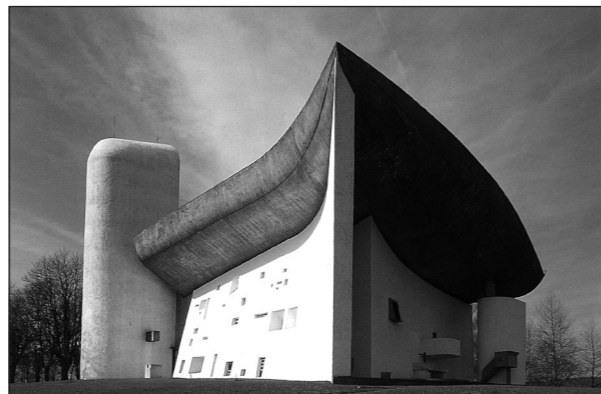
平成 22 年 5 月 29 日[土] - 7 月 11 日[日]

休館日は 5/31(月)、6/8(火)、14(月)、21(月)、28(月)、7/6(火)

時間 /9:40~18:00 (入場は 17:30 まで)

ル・コルビュジエ(1887-1965)は近代合理主義をモダニズムに昇華させた20世紀建築史に残る巨匠です。鉄筋コンクリート造を採用し、装飾を抑制した機能美溢れるデザインで世界中の建築に大きな影響を与えました。その建築はインターナショナルスタイルとして、普遍的価値をもたらしています。世界に点在するル・コルビュジエの建築物を世界遺産にという動きが大きな話題にもなっています。またコルビュジエは、総合芸術雑誌「レスプリ・ヌーヴォー(新しい精神)」を発行。ピュリズム(純粋主義)の旗手として画家としても活躍するなど、その多才さで知られています。さらにル・コルビュジエは都市計画の理念でも大きな功績を残しました。パリ万博が開催された1925年、人口過密で悪化する都市環境を批判して「輝く都市」と題する都市計画を発表。住宅や商業施設を高層ビルに集約することでオープンスペースを緑地化し、歩道を分離することを唱えました。人間らしい生活と太陽と緑による自然との調和を目指したのです。

本展ではル・コルビュジエの思想や作品を通して20世紀のモダニズムを回顧します。そして、その遺産を輝く人と地球環境が共生する「健康都市」の視点で未来に引き継ぐべく、愛媛県の都市環境やまちづくりをも展望できる展覧会となります。(K.E.)



ロンシャンの礼拝堂(外観、南東側) 撮影 下田素也

会期中、記念講演・パネルディスカッション・ギャラリートークを計画中です。詳細が決まり次第、チラシやホームページでお知らせします。

Radiant Cities - Light up the way for Healthy Cities

Column

愛媛県美術館では、作品ガイドボランティアによる対話型鑑賞プログラム(作品を見て、感じたこと考えたことを話し合う)を実施しています。その鑑賞プログラムを実践いただいているボランティアの方に体験談を語っていただきました。



円空・木喰展ギャラリートークを振り返って

作品ガイドボランティア 2 期生 上甲康子

1月24日「円空・木喰展」の最終日、東光寺の群像でトークを実施しました。心がけたことは二つ、①最初の発言から拡げること。②発言を拾い重ねること。

この日は、13体の中で白鬼が一番好きという女性の意見からスタートしました。そうして作品を見て発見したこと、感じたことをもとに30人以上の発言をいただき30分間のコミュニケーションが図られました。

例えば葬回河婆では、「髪が豊かで老婆のイメージとは反対だ」「歯も全部揃ってて現代人より丈夫そう」「膝を立てて今にも飛び出しそう」「木目から血の巡りがよさそう」「目が合うと見透かされているよう」「一番前にいて番人のよう」などの意見が出されました。また「私が本尊!」とばかりに頭光を付けた自身像をみても、90歳でなお名前を変え、千体彫り上げてさらに二千体を目指した木喰の姿を彷彿とさせる意見が出されました。

対話型鑑賞法のねらいの一つは、コミュニケーション能力の育成です。今回、私自身が、作品・観客・スタッフとの対話の楽しさを実感しました。特に「百聞は一見にしかず」と訪ねた東光寺(兵庫県)の住職さん夫妻が、当日来館いただいたことは、想定外で大変感激しました。観客からの「楽しかった」という言葉こそ、この日のトークを振り返っての私自身の言葉でした。



木喰 葬回河婆 東光寺(兵庫・川辺郡)

Information

知ってますか?

美術館のスペースが使える!?

愛媛県美術館では、展示スペースとして新館の特別展示室及び南館の県民ギャラリーを、貸しスペースとして講堂(120 座席)、研修室(56 座席)を貸し出しています。作品発表、研修会の場所として利用してみませんか?

貸館の約束事項

【休館日】 美術館の休館日に準じます。

【利用時間】 9:40~18:00

- ・展示スペースは、原則として1週間単位(主に火曜日~日曜日)で貸し出します。
- ・貸しスペースは、午前、午後及び1日の単位で貸し出します。
- ・貸館の利用後は、使用前の状態に原状回復してください。(使用した備品、仮設壁等は撤去してください)
- ・その他、美術館の諸規程を遵守するほか、必ず職員の指示に従ってください。

料金表

新館	使用料(1日)	南館	使用料(1日)
特別展示室 1	4,790 円 7,660 円	県民ギャラリー 1	14,270 円
特別展示室 2	3,370 円 5,390 円	県民ギャラリー 2	11,210 円
特別展示室 3	5,600 円 8,970 円	県民ギャラリー 3	3,050 円
講 堂	4,630 円 (1,740 円)※1 (2,890 円)※2 7,400 円 (2,780 円) (4,620 円)	県民ギャラリー 4	4,070 円
	4,430 円	県民ギャラリー 5	4,070 円
	(1,920 円)※1 (2,510 円)※2	県民ギャラリー 6	2,030 円
		県民ギャラリー 7	2,030 円
		県民ギャラリー 8	6,110 円
研 修 室		県民ギャラリー 9	2,650 円
		県民ギャラリー 10	2,740 円
		県民ギャラリー 11	2,740 円
		県民ギャラリー 12	3,050 円

■ 入場料が有料の場合
□ 入場料が無料の場合
※1 9:40~12:00の料金
※2 13:00~18:00の料金



特別展示室 1

ギャラリー 1

講堂

Topics

ただ今ミュージアムショップ進化中!

「美術館でじっくり、ゆっくり作品鑑賞を楽しんだ後は、来館の思い出に作品の絵葉書や、気の利いたデザインのグッズをショップで選んだり、カフェで美味しいランチやデザートを楽しみたい」。これは、美術館を訪れる多くのみなさんからよく聞かれる声です。美術館では、しばらくお休みしていたミュージアムショップが去る 10 月 1 日から、リニューアルオープンしました。以前よりも少しだけスペースが小さくなりましたが、中身はガラリと変身。現在は展覧会「ミルコトカラハジマル」(1月22日~2月28日)を開催中ということもあって愛媛ゆかりの若手作家の作品やグッズがキラリ!と光っています。ミュージアムショップではこの後も、新収蔵品図録や新しいグッズが徐々にお目見えいたします。ショップは美術館正面玄関に入ってすぐ右側の奥にあります。展覧会の後で、堀之内公園の散歩の途中で、ぜひ美術館ミュージアムショップをのぞいてみてください。(Y.S)



Information

美術館友の会会員募集

22 年度の友の会会員を募集します!ぜひ、会員になって、展覧会を鑑賞したり、研修旅行や美術教室に参加したり、美術館の活動を満喫してみませんか?会費は 3,000 円からです。詳しくは美術館友の会までお問い合わせください。
●お問い合わせ先 愛媛県美術館友の会 tel.089-932-0147

アトリエ同好会

創作スペースとして貸し出しているアトリエでは、年間を通して 1 つの種目を取り上げ、興味のある利用者が集まり、技法の習得を目指し、ともに学び合う「アトリエ同好会」を発足させ、活動を行っています。4 月からは染めをテーマに、染色のサンプルを作ったり、染色のデータを集めたり、みんなでいろいろ染めを試してみたいと考えています。興味のある方は、ぜひ、ご参加ください。お待ちしております。なお、21 年度は版画に取り組み、その成果を発表する展覧会を 6 月に開催します。

まもなく完成!

ただ今、開館 10 周年を記念して新しい「愛媛県美術館収蔵品集」を作成中です。美術館が大切にしている作品の中から選び抜いた作品約 160 点を、見やすい画像と読みやすい文章でご紹介いたします。この本を通して、これまで当館が行ってきた収集活動はもちろんのこと、作家による公開制作、ボランティアによるコレクション・トークの取り組みなど、愛媛県美術館の現在の姿を在りのまま「みて」いただけるような内容となっています。多くの皆さんに、美術館やその作品をもっと身近に感じ、大好きになっていただきたい——そんな願いを内に秘めて、日々努力しているところです。この本が完成いたしましたら、ぜひお手に取ってみてください! (H.S.)

